



お知らせ
情報公開



住民懇談会・農業委員会
の情報をお知らせ
します。

仮設住宅・公的宿舎 住民懇談会開催

村は、1月22日を皮切りに、仮設住宅・公営宿舎住民懇談会を各集会所等で開いています。懇談会では、復興計画や除染の見通し、東電賠償についての説明が行われた後、質疑応答や生活環境の改善・要望について意見が交わされました。

入居時期、仮設住宅・公営住宅への入居期限、借り上げ住宅への住み替え方法、新築の購入への支援の有無などでした。子どもが入居が多い公的宿舎では、村が計画を進めているコミュニティスクール（土曜授業）について質問が相次ぎました。



▲具体的な質疑が相次いだ松川第一応急仮設住宅での住民懇談会



豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは十分と云えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。サラリーマンは国民年金（基礎年金）の上乗せ年金として、厚生年金や共済年金を受け取っています。農業者の皆様も、メリットがたくさんある農業者年金に加入して安心して豊かな老後を迎えましょう。

国が支える 安心が大きくなる
掛け手積立年金 へ加入しよう！
 ※メリットいっぱい！
農業者年金
 老後の備えは万全ですか？

◆農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額（年額）の試算◆

加入年齢	納付期間	運用利回り 2.07%の場合		運用利回り 3.00%の場合	
		男性	女性	男性	女性
20歳	40年	75.7万円	64.7万円	93.8万円	80.0万円
30歳	30年	51.5万円	44.1万円	60.8万円	52.0万円
40歳	20年	31.3万円	26.7万円	35.3万円	30.1万円
50歳	10年	14.3万円	12.2万円	15.4万円	13.2万円

注)この試算は、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.07%及び3.00%、65歳以降の予定利率が1.15%となった場合の試算です。運用利回り2.07%は制度発足以降の11年度間の運用利回りの平均です。予定利率1.15%は、農林水産省告示（H25.4.1施行）により定められている率です。

「広報いいたて2月号」についてお詫びと訂正
*P7の農業者との意見交換会で、コメントを掲載した「高野靖夫さん・笑子さん」（最下段右から1人目）のお名前が、誤植により「高野靖夫さん・光子さん」となっていました。訂正し、お詫び申し上げます。*P16の入札結果で、平成25年度被災地域農業復興総合支援事業期間事業農業用施設等整備工事において、請負業者の「大内わら工品（株）」が、誤植により「大内わら公品（株）」となっていました。訂正し、お詫び申し上げます。



▲福島県の営農再開に向けた現状を伝える鹿児島大学でのセミナー

被災地の現状を伝える

農林水産省所管・（独）国際農林水産業研究センター派遣
万福 裕造さん

飯舘村・川俣町で農地除染技術の開発を行なった、農林水産省技術会議事務局や関連する独立行政法人と、飯舘村、川俣町が協力して、これまでの除染技術経過や除染後の農地での水稲実証試験について、全国各地で



▲安全性を確認した試験栽培米を配布

セミナー等を開催しました。

セミナーは主に「福島県における放射能汚染農地除染と営農再開を考える」ことをテーマにしました。被災地の厳しい現状を伝えると共に、実証試験で収穫し、安全性を確認した飯舘村（草野、小宮）・川俣町（山木屋）の米を配布しました。

鹿児島大学でのセミナーでは、「自分の所でこのような厳しい事故があったらと思うとぞっとする。農業の再生は地域にとって必要不可欠であると思うし、科学的な根拠もしっかりしており、安全性が確認されているお米は被災地のために購入したい」とご意見を頂きました。風評被害は徐々に忘れられ、風化するかと思いますが、農業再生にかける被災地の思いや状況をこれからも定期的に情報発信していきたいと思えます。

こころのぽけっと

「思い」を「カタチ」に

多くの企業の後援で、「社会を良くする新聞広告」が出ています。その「こころ」

「こころ」は誰にも見えないけれど「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど「思いやり」は誰でも見える。あたたかい「こころ」も、やさしい「思い」も行いになって、はじめて見える。その気持ちを、カタチに…… があります。

いかがでしょうか。「なるほど、そうだな」ですね。今日は、2月14日、バレンタインデーです。これも一つの「気持ち」をカタチに「な」のかなと思ってしまう。日本では、チョコレート会社の商魂にのせられて「女性から男性へ愛の告白できる日」として定着してしまいました。さらさらのせられて、「義理チョコ」やら「友チョコ」なるものも広がっています。人間関係の潤滑油ということでしょうか、文句をつけるつもりは毛頭ありませんが、近ごろ「家族チョコ」や自分へのご褒美「自分チョコ」も「本命チョコ」より上位に食い込んでいくそうです。

いすれにしても「思い」を伝えないと相手にわかってもらえません。近年、相手に断られるのが恐ろしくて、愛の行動をしない若者が増えているという話も聞きます。人を好きになることはとても素晴らしいことです。人間を成長させる大きなエネルギーになります。たとえ結果はどうあれ、人生にとってマイナスになることは絶対ありません。思い切った「カタチ」にしてみてください。もっといろんな方法や言葉で思いをカタチにすることに、さらに住み良く、優しい社会がつけられていくのではないのでしょうか。

平成26年2月14日 飯舘村長 菅野 典雄